半右衛門政吉ハ甚右衛門政雄か二男なり
寛永譜 はしめ駒之助といひ七之助とあらたむ
たゞし 家譜 慶長七年はしめて
台徳院殿を拝し奉る 寛永譜 大番に列
し采地二百石を賜ふ寛永元年七月
七日卒す四十五なりしかは法名道縁
といふ其子半右衛門政軌ハなをし先直
太郎とも七之助ともいひける 家譜

大猷院殿に仕へ奉る 寛永譜 大番をつとむ
寛永二年十二月下総国香取上総国市
原武射三郡のうちにおいて采地二百石
の御朱印を下さる同十年二月相摸国大
住郡の内にをいて二百石を加へられ其後
馬揃を台覧の時まうて大住郡にして加
増の地をたまふ 家譜 同十六年八月平城の営
作にあつかりて仰を奉りて伊豆国山中の

材木を監し同二十年五月十八郷橋普請に
よりて岩手紹五右衛門一信とおなしく
駿河遠江の山々より良材を伐出して事
を奉行し其後組頭にすゝみたり 家譜に今は小普請横斐七之助政芳か祖なり

五右衛門政之（まさゆき）は與右衛門政景か二男なり
家譜にはしめ政恂といふ寛永十年にうし
なへり

大猷院殿に拝し奉つり 寛永譜 のちに召出さ
れて御小性組に列し廩米二百俵をた
まはり慶安元年五月より中奥に候
して 家譜に今の小普請横斐兆之助政禮か祖なり